

# 井上ひさしの 国語教室

会期 2017 **12/16** **土** ~ 休館日 月曜日(1月8日、2月12日は開館)、第4木曜日、12月28日~1月4日、1月9日、2月13日

2018 **4/8** **日** 開館時間 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料 一般570円 高校生230円 小・中学生110円(各種割引あり)

場所 仙台文学館企画展示室



自宅書斎での井上ひさし  
写真提供 月刊ゲーテ(幻冬舎)

主催 仙台文学館  
協力 井上事務所、こまつ座、遅筆堂文庫

(公財)仙台市民文化事業団  
**仙台文学館**  
〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1  
Tel.022-271-3020 Fax.022-271-3044  
http://www.sendai-lit.jp

仙台文学館の初代館長を務めた、劇作家・小説家の井上ひさしは、まれに見る読書家・蔵書家でもありました。その蔵書量は、ある時期は13万冊にもおよび、のちに一つの図書館を建てることのできるほどでした。「良い読み手ほど、良い書き手になる」という信念をもっていた井上は、本の集め方や読み方にも工夫を重ねていました。その工夫は、「とにかく面白いと思ったら赤鉛筆で、線を引く」で始まる〈本の読み方十箇条〉のような形にまとめられており、私たちにも大いに参考にできることがあります。

また井上は、ユーモアある語り口で、日本語の面白さや奥深さを読者に伝えようとした作家でもありました。たとえば、「文法を楽しく」をモットーに書いた『私家版日本語文法』では、漫画『ゴルゴ13』を皮切りに擬声語と日本人の音感との関わりを分析し、『自家製文章読本』では、芥川龍之介からキャバレーの求人広告までを引用しつつ、日本語の表現の豊かさや柔軟性をとらえ直そうとしています。

本展では、「読むことと書くこと」「日本語」といったテーマについて、井上がどのように向き合い、発信しつづけたのかを、関連する自筆資料や蔵書を通して紹介します。



井上ひさし自筆の『自家製文章読本』創作メモ(仙台文学館蔵)



井上ひさしの書き込みがある『改訂 新潮国語辞典』(遅筆堂文庫蔵)



宮沢賢治著『どんぐりと山猫』(遅筆堂文庫蔵)  
井上ひさしが少年時代に、初めて出版社に注文した本。この本からは、大きな影響を受けた。

ほかの学科も大切ですが、国語、日本語というのは、これからみなさんが生きていくうえでほんとうに大事な道具です。道具というよりもっと大事なものです。だまされたと思って、一所懸命、言葉を勉強してほしいとおじさんは念願しています。

井上ひさし「言葉と友達になろう」  
(日本放送協会編『授業―母校の教壇に立つて』第巻)

## 展示関連イベント

### 展示室リーディング

#### 「どんぐりと山猫」

井上ひさしは、少年時代に宮沢賢治の『どんぐりと山猫』を読み、その新鮮な擬音語・擬態語に大きな感銘を受けました。このイベントでは、その名作をリーディングでお楽しみいただけます。

■日時: 1月27日(土)、2月4日(日)  
いずれの日も、1回目11:00~12:00  
2回目14:00~15:00

■会場: 仙台文学館企画展示室  
■定員: 30名

■出演:



白鳥英一  
(俳優・ナレーター・鳥屋主人)



熊谷真弓  
(オカリナ奏者)



伊藤哲  
(人形遣い・おはなしてっちゃん)

■演奏: BMB(ブレイメンズ・ミュージック・クラブ・バンド)

※入場には当日の企画展観覧券が必要です。

### 申込方法

電話・FAXのいずれかで仙台文学館へ。(FAXの場合は、イベント名・日時・名前・電話番号を明記してください。定員になり次第受付終了します。※いただいた個人情報は上記イベントのご連絡以外には使用しません。

### ■学芸員による展示解説

貴重な肉筆資料とともに、井上ひさし作品の魅力について、学芸員が解説します。

- ① 1月20日(土) 13:30~
- ② 2月17日(土) 13:30~
- ③ 3月11日(日) 13:30~

申込み不要。直接会場へ。  
※当日の企画展観覧券が必要です。

※このほかにも関連イベントを予定しています。詳細が決まり次第、仙台文学館ホームページなどでご案内します。

### 交通のご案内

- バス利用の場合  
〈宮城交通バス〉仙台駅西口バスプール2~4、6番乗り場 仙台北・泉地区方面行(急行・北山トンネル経由を除く)  
〈市営バス〉仙台駅西口バスプール6番乗り場 八乙女駅行  
※いずれも「北根二丁目・文学館前」下車
- 地下鉄利用の場合  
台原駅下車徒歩25分(台原森林公園内あかまつの道経由)
- 駐車場40台(無料)  
台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください



(公財)仙台市民文化事業団  
**仙台文学館**  
〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1  
Tel.022-271-3020 Fax.022-271-3044  
http://www.sendai-lit.jp



このチラシは「雑がみ」としてリサイクルできます。